

大岡信(人)詩人先輩の足跡学ぶ

三島市出身の詩人大岡信氏(1931~2017年)が生まれた2月16日に合わせ、母校の市立南小は26日まで大岡氏の作品や幼少期の写真などを集めた展示コーナーを校内に設置している。



母校 三島・南小にコーナー

作品や幼少期写真展示

妻のかね子さんから寄贈を受けた著書や、小学校の代表としてラジオで歌を披露する大岡氏の写真などを展示した。少年時代の日記は鉄棒から落ちて足をすりむいた経験や、ラジオで聞いた大相撲の様子などがつづられている。小学2年で書いた作文「なまつ」は、選者の川端康成の評価で佳作に輝いたエピソードも添えられた。

大岡氏は1937、43年に同校で学んだ。現在は小学6年の国語の教科書に大岡氏の「連詩」を発見する」が掲載され、偉大な卒業生を身近に感じてもらおうと初めて企画した。展示コーナーを訪れた6年の石川裕盛

君、宮沢南央さん、矢野真桜さんは「国語の授業では南小の卒業生とは思わなかった」「日記を見て親近感がわいた」など見入っていた。

(三島支局・金野真仁)

写真や作品を紹介する展示コーナー＝三島市立南小